



令和7年2月10日発行

第105号



能登半島地震 被災地派遣レポート

令和6年1月1日に発生した能登半島地震。多摩区社協の職員も、被災地へ派遣されました。能登半島の災害ボランティアセンター(※1)に派遣された櫻枝職員と、ボランティアバス(※2)で川崎市内の高校生・大学生と共に能登半島を訪問した奥田職員による派遣レポートを紹介します！

※1 災害ボランティアセンター:被災地でボランティアを必要とする人とボランティアをする人の調整を行う拠点。

※2 ボランティアバス:被災地を支えるボランティア活動をしたい!という気持ちを抱く市民のアシストをする、川崎市社協の事業。今回は高校生・大学生を募集し、震災で「あそび場」を失った能登の子どもたちに笑顔を届ける活動を行いました。

～災害ボランティアセンター派遣レポート～



令和6年7月2日から7月8日まで能登町災害ボランティアセンターの運営支援として、同町の柳田地区にあるサテライトセンターに派遣されました。活動内容は、現地調査、ボランティアさんの受付対応と車でのご送迎などで、チーム内でローテーションを組んで行いました。

1月の地震から半年が経っていましたが、破損した住宅の片付けや家具の運び出しなどの依頼はまだ多く、一方でボランティアの人数は減少しつつある状況でした。現地調査では、住人の方々から「家族と離れて暮らすことになっても住み慣れた地を離れたくない」「現地で生活していきたい」という思いを聞きました。また、これまで様々な被災地でボランティア活動をしてきた方からは、少しでも能登の力になりたいという思いが伝わってきて、心強さ

を感じました。派遣が終わった後も、水害で二重に被害を受けてしまった現地の状況に胸を痛めています。今後も機会があれば支援に携わりたいと思っています。

～能登の子どもたちへ「笑顔」を 高校生・大学生ボランティアバス報告～



学生が主体となり、現地の子供達に、夏祭りをテーマにしたあそび場を企画しました。

被災地支援といえば、がれきの撤去作業などを想像する方も多いと思いますが、子ども達に遊び場を提供することも復興支援の一つであるということは、今回参加をした学生たちにとっても、「ボランティア」に対する印象が大きく変わった様子を感じました。

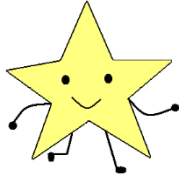
ボランティア活動に参加をするということは、自分たちが暮らす地域について“知る”きっかけにもなり、災害が起きたときなどの非常時に、その地域住民として、お互いに助け合う意識を日常から持つことに繋がっていくのだと思いました。

また12月26日(木)には参加した学生たちによる報告会も行われ、現地を見て感じたことを、学生たちが自身の言葉で市民に伝えました。

活動内容の詳細は、広報紙「川崎の社会福祉」606号で特集されています！

ぜひ併せてご覧ください





たまぼら掲示板

※こちらに掲載していないボランティア情報もあります。お問い合わせは多摩区社会福祉協議会まで！

高齢
障害

1. 多摩サポーターズ ボランティアメンバー募集！

多摩サポーターズは、困っている高齢者世帯や障害者世帯の自宅の庭の手入れや、簡単なお手伝いをおこなうボランティアグループです。汗を流してボランティア活動をした方、一緒に活動してみませんか？

活動日：月に1～2回 ※要望次第で、土日祝にも活動。
主に9：00～12：00（作業時間は2時間程度）
定例会：月に1回、福祉パルたまで開催。
活動場所：多摩区内
問合せ先：多摩区社会福祉協議会
（多摩区ボランティアセンター）
Tel：044-935-5500

障害

2. 多摩ふれあいまつり イベントボランティア募集

多摩ふれあいまつりは、障害のある方やボランティアの団体・グループが日ごろ地域で行っている活動を紹介し、「心のバリアフリー」の理解と普及啓発を目指して開催しています。おまつりの前日と当日のお手伝いを募集します！
※当日のみか両日の参加を募集。募集〆切5/23（金）
日時：令和7年6月15日（日）8：30～17：00
（前日準備）6月14日（土）13：00～16：00
場所：多摩市民館
対象：高校生以上
問合せ先：多摩区社会福祉協議会 Tel:044-935-5500

障害

3. 映画館への外出同行 ボランティア募集！！

車いす利用で一人では外出が困難な方のために、車いすを操作し、映画館に連れて行ってくれるボランティアを募集しています。詳細は、多摩区ボランティアセンターにお問い合わせください。

募集：車いす操作ができる方
その他：映画代は依頼者が負担。
問合せ先：多摩区社会福祉協議会
（多摩区ボランティアセンター）
Tel：044-935-5500

その他

4. 宿河原小学校地域開放図書 ボランティア募集

学校の図書室を一般開放し、話題の本・児童書・絵本等図書の貸出をしています。貸出・返却手続き・図書選定・書架整理などのスタッフを募集します！開放時は、お当番となっている2～3名で活動しています。
日時：月1回 日曜日（図書室開放は毎週日曜日に実施）
10：00～14：00
場所：宿河原小学校 JR/小田急線登戸駅より徒歩7分
問合せ先：Tel 090-3226-9919（担当：藤村）
※学校図書館有効活用事業については、川崎市教育委員会事務局生涯学習推進課（Tel：044-200-3303）までお問い合わせ下さい。

一芸ボランティア紹介コーナー

『ワンマンバンド トキ イチロー』

定年退職後、ギター・ハーモニカのワンマンバンドで、主に介護施設で伴奏し、童謡・唱歌・演歌・民謡の伴奏の、音楽ボランティア活動に長年取り組んできました。

老人会の会合、子ども食堂等要望があれば、どこにでも出向きます。

時間は最大で1時間です。ウクレレ漫談も楽しめます。
活動日：打合せの上、決定。
問合せ先：044-966-6615(トキザワ)



～たまぼらひろば～

はじめよう!
ボランティアライフ!!

次回開催日

令和7年3月4日(火)

10:00~14:00

多摩区役所1階アトリウム
パサージュ・たま

多摩区ボランティアセンターでは、ボランティアを始めたい方などを対象として、出張型のボランティア相談会「たまぼらひろば」を定期的開催しています。

ボランティアに関して何か聞きたいことがある方は、お気軽にお越しください♪



ボランティア保険の更新時期です



3月から、令和7年度のボランティア保険の申込受付を開始します。

新規登録・更新手続きは、多摩区社会福祉協議会窓口にて受け付けています。

もしもの時のケガや損害に備えて保険に加入し、安心してボランティア活動に取り組みましょう!

基本プラン 350 円、天災・地震補償プラン 500 円です。



入場無料

第17回 多摩区社会福祉大会開催!!

多摩区社会福祉大会は、多摩区で長年にわたり、地域福祉に貢献された方や団体に対し感謝の意を表するとともに、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指し、社会福祉に関する啓発活動を広く行っています。

第1部記念式典では地域の社会福祉に貢献した人を表彰し、第2部では社会福祉啓発のための映画『お終活 熟春! 人生、百年時代の過ごし方』を上映します。車いす御利用の方、第1部にて手話通訳・要約筆記が必要な方は、2月12日(水)までに多摩区社会福祉協議会(Tel:044-935-5500)までご連絡ください。

日時 令和7年3月10日(月)13時15分~16時
(開場12時45分) ※第2部のみの入場はできません

場所 多摩市民館2階 大ホール

定員 900名(当日先着順)

映画 『お終活』

出演: 水野勝、剛力彩芽、松下由樹、高畑淳子
橋爪功 他



©2021「お終活」製作委員会

～「地域のつながり！ たまたまみっけ！」参加のご報告～

令和7年1月25日（土）に地ケアフォーラム×地域デザイン会議による『地域活動マッチングイベント 地域のつながり！ たまたまみっけ！』が多摩市民館で開催され、多摩区社協も参加しました。

ブースでは、多摩区社協のボランティア事業について紹介し、来場者に多摩区内で行っているボランティア活動などについて説明しました。



申し込みをすると気になった活動を後日見学できる「ちょこっと活動見学！」という企画もあり、多摩区社協では「おしゃべりサロン いちにのさん！」を取り上げました。

同じフロアではボランティアグループ「多摩サポーターズ」（たまぼら99号で紹介！）も初出展しており、今号のたまぼら掲示板でボランティアメンバーを募集しています。「おしゃべりサロン いちにのさん！」も同じくボランティア募集中です。



ご興味のある方は、多摩区社会福祉協議会（多摩区ボランティアセンター TEL:044-935-5500）までお問い合わせください！

多摩区総合防災訓練に参加しました！

令和6年11月17日（日）に柘形中学校で開催された、多摩区総合防災訓練に多摩区社協も参加しました！

出展ブースでは、災害ボランティアセンターの紹介と、クイズを出題していました。クイズに正解し、設置のガチャガチャで当たりが出た方には防災ライトをプレゼントしており、約180名の方にご参加いただきました。

たくさんのご来場ありがとうございました！



当日の様子

～傾聴ボランティア ステップアップ講座&交流会 開催～

多摩区ボランティアセンターでは2月28日（金）に、令和6年10月に開催した「傾聴ボランティア入門講座」の受講生を対象とした、ステップアップ講座&交流会を開催予定です。傾聴についての理解をより深めて、今後のボランティア活動に活かすことが目的です。

来年度（令和7年度）も、より多くの方がボランティア活動を始めるきっかけとしてもらえるよう、ボランティア活動の“やりがい”や“楽しさ”などが具体的に伝わる内容の講座を企画していきますので、興味のある方は是非多摩区社協のホームページなどをチェックしてみてください！

～次号予告～

2月6日に多摩区ボランティアセンター運営委員を対象とした研修「災害ボランティアセンターの設置と役割について学ぼう」を開催しました。詳しいご報告は、次号たまぼら106号に掲載します。防災意識が高まる昨今ですが、発災時に各々に何ができるか考える機会となれば幸いです。

この情報誌は一部共同募金の配分金で発行されています

たまぼら定期送付をご希望の方は、多摩区社会福祉協議会（多摩区ボランティアセンター TEL:044-935-5500）までご連絡ください。費用は無料です。

ホームページはこちら

